

【22_155技術系メルマガ】『優位性ある』チャートパターンの見つけ方

〇〇さん

こんにちは！クロガキです。

先日、『チャートパターン』に対する考え方の深掘りをリクエストされて

朝のライブでは珍しく、テクニカル系の話をしました(笑)

▼先日のモーニングライブアーカイブ▼

<https://youtu.be/s8B1IverW4k>

その際に僕の要点として、

- ・「パターンっぽい物」は沢山出てくるが、上位足の波の位置関係を考慮して『どこで発生したパターンなのか』を考えるのが大事
- ・『効く(優位性がある)パターン』は、自分が軸とする時間足の“波の切り返し”の起点で起こることが多い
- ・僕のような短期デイトレをやる人は、原則パターン分解するベースの波は『H1足』くらい。(H4、日足の1波はセミスイング以上のトレードをやる人)

この3点をポイントとしてお話ししたつもりです。

中でも、一つ目のポイントとなる『どこで発生したパターンか？』を考えるのはかなり重要なのですが、意外とこの点にピンと来ていない人も多いようなので今日のメルマガではその点を補足しようと思います。

□
■ チャートパターンでは、『値動きの方向』は決まらない

え？と思われた人もいるかもしれませんが、結論を先に言っておくと

値動きの方向を決める決定打となる要素は、『各時間足のプライスと形成された波との位置関係』

また、僕の場合は『長期足の水平線との位置関係と空間の広さ』で決めることが大前提です。(これが『目線の固定』)

この辺を詳しく知りたい人は、別途配信している『デイトレ講座』の方も併せてチェックしてみてくださいね。

この目線方向と『パターン』が合致した時、初めて『チャートパターンが機能する』状態になります。

例えば、下に模式図を付けますが

節目のサポートがすぐ近くにあるのが分かっているながら、ショート方向のパターンである『三尊』が発生したとしても

そのネックラインを切ってすんなり下落方向には行きにくく、寧ろ2つ以上のボトムを作って上昇していく事も考えられるわけですね。

▼模式的イメージ▼

<https://drive.google.com/file/d/1GvFzcnm7GyvxMzBoqnG0Wv5OjbAJA8Du/view?usp=sharing>

大抵、「パターンにだまされた！」と感じる時はこれでやられているケースが多いです。

こういう時に、水平線の引き方の基準を作っておかないと

エントリーの理由付けとして活用したいチャートパターンを信じたいあまり、本来いつも引いている水平線を

無意識に無視してしまったりして、「パターン通り入ったのになんで？」とパニックになってしまうのです。

今回は、『効くチャートパターン』をどうやって探すのか？という視点で話をしましたが

これも結局のところ『自分の決めごと』に基づく『目線の固定』が背景にあって

その目線を裏付ける『短期足のセットアップ(今回話しているパターンがこれに含まれる)』が一致する事でエッジの効くトレードに繋がる。

という、いつも話している事の延長線上に戻ってくるのですね(笑)

こうして毎日書いているメルマガでは、1通1テーマでいろんな角度から話をしていますが最終的には戻ってくる原点が決まっているので、見方を変えることによって前にピンとこなかったことがふと分かるようになる。

そんなコンテンツを目指して取り組んでいますので、より良い内容になるように日々考えながら作っていきます。

皆さんからの感想・質問が新たなメルマガのテーマに繋がる事も多いので是非このメールへの返信で、思ったことを送ってくださいね。